

387人の新成人にエール！

社会人としての門出を祝い『阿蘇市成人式』



▲成人の誓いを述べた工藤さん。大学で薬剤師を目指しがんばる中、今まで支えてくれた人たちへの感謝の気持ちや、母校小池野小学校が閉校したこと、一層阿蘇への思いが深まったと阿蘇を大切に思う気持ちを語り自分たちの手で阿蘇を創り上げたいと誓う。



▲同じく近藤さん。加速する高齢化で医療福祉の充実を図りたいと看護師を志したが看護の仕事は大変と実感。掃除一つとっても清潔が回復につながる大事な仕事と知った今、患者さんの感謝の言葉を原動力に、次代の社会を担っていくことを誓う。

中国から来ている観光業・農業研修生も多数出席。中国では成人は18歳とのこと。

平成19年阿蘇市成人式が、1月7日、阿蘇体育館で盛大に挙行されました。今年阿蘇市で成人を迎えた人は、昭和61年4月2日から昭和62年4月1日に生まれた387人。式典には、前日からの雪が残る寒い日にもかかわらず、色あでやかな晴れ着姿の新成人282人が出席しました。会場では迫力ある大阿蘇御神火太鼓の演奏が新成人を迎え、池邊教育委員長のあいさつで開式。佐藤県議会議員、家入市議会議長が「立派な社会人として、これからの阿蘇市を君たちの手でつくってほしい」など来賓あいさつを行い、また、佐藤市長が応援歌を交え、一人ひとりの夢の実現に向けた新たな旅立ちに熱いメッセージを贈りました。

続いて、「成人の言葉」を工藤康史さん(小地野)、近藤智穂さん(中原)が、「交通安全宣言」を野尻裕史さん(上西黒川)、岩下咲貴さん(古城5の2区)が、「成人者代表謝辞」を鞭馬稔さん(内牧1区)が行い、それぞれが立派に思いを言葉にし、清々しい雰囲気の中、成人式を終えました。



▲成人者を代表し謝辞を述べた鞭馬さん。



▲交通安全宣言をする野尻さん、岩下さん。



20年前の出来事

- 内牧に下水道が完成、供用開始
- 泉大橋完成、町道内牧線開通
- ミルクロードが全線開通
- 一の宮町サイクリングコースオープン





叙勲 橋本悦記氏に旭日単光章

町議会議員として地方自治功勞

昭和49年11月から昭和61年11月までの3期12年にわたり、旧阿蘇町議会議員として町の発展や地方自治に貢献された橋本悦記さん(88歳、永草)の功績に対し、平成18年12月1日、高齢者叙勲として内閣総理大臣から旭日単光章が贈られました。

議会では建設常任委員会委員長、副議長を歴任。地域においても、「人のために働く」をモットーに献身的につとめられてきました。今でも独居老人の安心安全なくらしの推進を心がけておられます。市長室での伝達式で橋本さんは「この受章は皆さまの支えとご協力によるものです」と喜びを語られました。

全国都道府県対抗中学バレーボール大会で

阿蘇北中の山口いよなさん健闘！

12月24日から4日間、大阪市で開催された第20回JOCジュニアオリンピック全国都道府県対抗中学バレーボール大会に、熊本県選抜チームの選手として、阿蘇北中3年の山口いよなさんが出場しました。山口さんはサウスポーで、ずば抜けた実力のアタッカー。今大会では決勝トーナメントで岡山県に2-0で敗れましたが、チームに大きく貢献しました。「違う中学のメンバーと練習し、全国大会に出ていい経験になった。自分の責任を果たすことを目標にがんばった」と感想。高校でもがんばれ山口さん！



アタックする山口さん ↑

亥年男女を迎え縁起よく年賀郵便元旦配達出発式

元旦に約50万通を配達

阿蘇市内の郵便局で、恒例の年賀郵便元旦配達出発式が1月1日行われました。一の宮郵便局では、佐藤市長などの来賓のほか、96歳の宮崎正敏さんを筆頭に干支の亥年生まれの方8人を迎えて晴れやかに出発式が開催されました。式が終わると、早速、郵便局員がたくさんの年賀状を積み出発。年賀状の到着を心待ちにしている市民のもとへ配達されました。今年阿蘇市内で元旦に配達された年賀状は約50万通で、一世帯あたりに換算すると46通。昨年より若干少なかったということです。



▲一の宮郵便局での出発式のもよう

あそBOYカラオケ会が車イスを寄贈

福祉に貢献したい

12月27日、あそBOYカラオケ会(溪崎恵代表、約40人)が車イス2台を、阿蘇市に寄贈されました。この車イスは、先日、同会が20周年の集いの際、福祉に少しでも貢献できればと募金箱を設置し、約600人の参加者に協力してもらい、集まったお金で購入しました。

なお、車イスは、一の宮図書館と阿蘇図書館にそれぞれ設置し、利用させていただきます。



▲今後も福祉関係に力を入れていきたいと述べられたあそBOYカラオケ会

マモルンダー

まちのわだい

参上!



熊本県商工会青年部連合会は、地域の安全・安心・環境保全等はその地で事業を営む方で守ろうという理念の下「人にやさしか隊」をつくっています。そこで、一の宮町商工会青年部(志賀克欣部長、他30人)は、最近よく耳にする幼児や児童をねらった凶悪犯罪が発生している現状を見かねて、防犯・警戒活動に一役かえないかと、青年部員の車両に警戒を促すマグネットシートを貼ったり、地域に看板・ポスターを掲示、店舗には「かけこみ110番の店」を周知するステッカーを掲示したりと、防犯活動に努めています。さらに、地域を守るヒーローとして「マモルンダー」を結成しました。早速、12月22日に宮地小学校で初お披露目し、はげしいアトラクションを交えた寸劇を行い、笑いのたえない中子どもたちを守るヒーローを演じました。



子どもたちに大人気のマモルンダー

◆マモルンダー
隊長の池田さん◆



◆まもレッド◆

混迷した時代だからこそ我々「マモルンダー」が勇気と希望、そして「やさしさ」「おもいやり」をもって防犯を促し、自分たちの地域を真剣に考え行動することが我々の使命です。

今後も保育園や小学校などに参上します。皆さん、登下校などでなにかあったら「マモルンダー」を頼ってください！
このマークが目印です。



◆まもブルー◆

一目で子どもたちにインパクトを残せるよう、キャラクターや口グを子どもたちが覚えやすい表示にし、子どもたちに覚えてもらえるようにしました。



◆まもグリーン◆

我々も子どもたちの親でもあります。「地域の未来は我々が守る」の合言葉をモットーに、今後子ども・お年寄りの安全、地域の安全、環境保全等に一生懸命取り組んでいきます。



▲店舗入りロステッカーによる
かけこみ店舗の設置

◀ポスター(看板)の掲示による
子どもたちの認識

▼車両マグネットシートによる
防犯活動



阿蘇郡市のランナー200人が力走

内牧のコースで記録更新目指す

伝統ある「第32回阿蘇郡市民マラソン大会」(阿蘇郡市陸上競技協会主催)が、1月13日、阿蘇体育館をスタートし湯浦地区(通称鍋つる線)を走るコースで実施されました。早朝から集まった小学生から一般のマラソンランナー約200人を前に、佐藤市長や阿蘇郡市体育協会長・西原村長が応援のあいさつ。選手たちはピストルの合図とともに2kmから10kmを走り、家族の声援に励まされながら記録更新を目指しました。
※入賞者は13ページみんなの広場のコーナーに掲載しています。



阿蘇北中出身の井野洋選手が箱根駅伝出場！

首位を守りきる快走見せる

新春恒例の関東大学駅伝第83回箱根駅伝に阿蘇北中出身の井野洋さん（順天堂大学3年）が出演し、復路7区（21.3km）で力走。首位を守りきり、チーム優勝に大いに貢献しました。記録は1時間5分40秒で20人中区間4位の成績でした。このほか井野選手は、昨年の日本学生対校選手権1,500mで優勝。なんと現在、1,500mと800m2種目の熊本県最高記録保持者です。井野さんは人格も優れ、260人率いる順天堂大学陸上部の19年度のキャプテンが内定しているそうです。これから夏まではタイで開催のユニバーシアード出場権獲得を目標に頑張ります。

永年にわたる慰問活動に感謝

更生保護女性会

刑期を終えた人が、仕事に就くなど社会復帰を図る間過ごす施設「熊本自営会」から、一の宮町更生保護女性会（佐藤チト子会長ほか42人）に感謝状が贈呈されました。これは、会が活動の一環として、約40年間にわたり熊本自営会を訪問し、野菜や米、布団などを差し入れ励ましてきたことによるものです。

更生保護女性会は、犯罪や非行をした人の更生支援活動や地域の犯罪予防活動を行い、犯罪や非行のない明るい社会をつくることを目的としたボランティア団体です。現在、阿蘇市では、同会ほか、阿蘇町更生保護女性会（本田光子会長ほか52人）、波野地区更生保護女性会（楢木野雪子会長ほか10人）が永きにわたり様々な支援活動に務めておられます。



文化財防火デー

貴重な文化財を火災や震災等から守ろう

1月26日は、法隆寺金堂の十二面壁画が昭和24年に火災によって焼失した日です。この日を「文化財防火デー」と定め、全国的に文化財防火運動が展開されています。

阿蘇市でも、26日、阿蘇神社で阿蘇広域行政事務組合消防本部、阿蘇市消防団（機動班、第1・2分団）ら約50人が参加し、実施されました。阿蘇市には数多くの文化財、歴史的遺産があります。一度なくしてしまったら二度と元には戻りません。これからも大切な文化財を火災や震災等から皆さんで守っていきましょう。



阿蘇インターネット放送局（WEBTV-ASO）

第12回AMD Awardリージョナル賞を受賞

阿蘇インターネット放送局が、総務省の管轄する社団法人デジタルメディア協会（AMD）より、地域に根ざした電子情報やサービスの中で最も優れた功績を挙げた個人や団体を表彰する「リージョナル賞」を授与されました。

阿蘇インターネット放送局は1年前に開局。阿蘇テレワークセンターが製作を担当。市のあらゆる情報を動画で配信しています。

なお、この受賞については、次号で詳しくお知らせします。

※ウェブテレビアソは、<http://www.webtv-aso.net/>でご覧になれます。





阿蘇市消防団出初式



1月7日、農村公園あびかで、新春を飾る阿蘇市消防団出初式が行われました。前日の夜から朝まで降り続いた雪で真っ白となったグラウンドで、全24分団及び中通小少年消防クラブが整列しました。式では、市長挨拶、団長訓示、来賓挨拶のあと、表彰状の伝達が行われました。

現在、阿蘇市消防団員は834人。昨年の火災件数は19件(建物火災8件、林野火災7件、車両火災1件、その他の火災3件)で、一昨年より6件の減となっています。

永年勤続表彰者

(敬称略)

消防庁長官表彰

永年勤続功労章

高宮信一(副団長)、古澤志喜男(分団長)

日本消防協会表彰

功績章

市原英一(副団長)、渡邊良作(副団長)

高宮信一(副団長)、成田一秋(副団長)

精績章

中村浩文(副団長)、阿南末雄(分団長)

江良孝一(分団長)

勤続章

湯淺正司(団長)、渡邊良作(副団長)

古澤志喜男(分団長)



熊本県消防協会表彰

功績章 20人

勤績章 25人

阿蘇市勤続表彰

10年 34人

退団者感謝状

65人

「高齢者大学」で市長が講演

活発な意見交換で有意義なひととき

阿蘇市社会福祉協議会が、月に一度、福祉や暮らし・生きがいなどをテーマに実施している「高齢者大学」セミナーに、1月は、佐藤市長が市政について講演しました。一の宮高齢者センターで実施された今回のセミナーには、「ためになる話が聞けるので楽しみにしている」という市民150人が参加。市長の講演後、参加者から盛んに質問があり、「直接話しを聞くとよくわかる」と好評でした。なお、この高齢者大学は、4月からも皆さまのためになるセミナーを多様に開催します。今後もふるってご参加ください。詳しい講演内容は「社協だより」もしくは本誌行事予定表をご覧ください。

「高校受験がんばってください！」

保育園児が中学3年生を激励

黒川保育園の年長組が、1月18日、阿蘇中学校を訪れ、3年生の受験の応援をしました。

これは、阿蘇中が授業の一環で、毎年、黒川保育園に保育実習に来ていることから、たくさん遊んでくれたお兄さんお姉さんに元気パワーを贈りたいと今回初めて実施したもので、園児たちは「僕もがんばるから受験がんばってください」「ごはんもたくさん食べてください」などと大きな声でエールを贈り、歌と踊りを披露。保育実習の時一緒に撮った写真に飾りをつけプレゼントしました。なお、今年の公立高校の後期試験は3月7・8日に行われます。頑張れ受験生！！





井上敏男さんが熊本県優秀技能者表彰を受賞

石材加工の業績を評価される

井上敏男さん(有)井上石材工業、69歳)が、優秀な技能を有し、県産業の発展に寄与し、その業績が特に顕著な方に贈られる熊本県優秀技能者表彰(熊本県知事表彰)を受賞しました。井上さんは今までの業績が評価され、熊本県石材工業組合連合会(約140団体)からの推薦を受け、今回の受賞となりました。井上さんは巧みの技で、これまでに荻神社(中江)の鳥居や波野中学校創立50周年記念碑、天皇皇后御来館記念碑(火の国ハイツ、熊本市)など数々の作品を作られています。

エコツーリズムを考えるシンポジウムを開催

阿蘇くじゅうの「自然守る」「魅力伝える」

国土交通省国土計画局と阿蘇くじゅう地域デザイン会議が主催した、「ゆっくりズム・シンポジウム」が、1月20日、阿蘇プリンスホテルで開かれました。これは、熊本・大分に広がる国立公園の草原の美しさや独特の文化・魅力ある人々・暮らしを国内外の人たちに広く伝え、これらをゆっくりと満喫(滞在交流型観光)してもらうためにはどうするべきかを考えるもので、約200人が参加。現在活動中の自然案内人の報告や、スイス在住の山田桂一郎氏(日本エコツーリズム協会理事)による「お客さまに選ばれる理由—ツーリズム先進地に学ぼう」と題した基調講演があり『訪れる人の意向や傾向』を理解。続く討論会で今後の取り組みについて活発に論議されました。



阿蘇くじゅう地域デザイン会議とは…
国土交通省が熊本、大分両県境にまたがる「阿蘇くじゅう地域」を滞在交流型観光地として整備支援するのに連動し、「阿蘇くじゅう地域デザイン会議」が発足。国立公園という共通の地域特性を生かした広域連帯の仕組みを考えると共に、同地域の環境・景観保全事業を計画、実行する。

いじめ撲滅活動展開中

阿蘇高校・いじめに対する思いを書き綴ったプレート



12月22日より約1ヶ月間、いじめに対する意識高揚を図るため、いじめに対する思いを全校生徒で書き綴った阿蘇高校オリジナルのプレートを宮地駅に掲示しました。これには、見に来た方も自由に思いを書き込めるようになっており準備していた紙が無くなるほど書き込みがありました。現在はそのプレートを校舎内の生徒出入口前に提示し、生徒に対しいじめに対する啓発・防止を行っています。普段なかなか言葉にだせないことを書けたり、また他の人が何を考えているのか知ることができたりと、真剣にいじめについて考えることができたようです。

スポーツ結果

●第32回阿蘇郡市民マラソン大会結果 (詳しくは10ページに掲載)
〈入賞者〉

小学生の部(2km)男子

1位 日田湧大(阿蘇西小6年)

小学生の部(2km)女子

5位 矢野瑞歩(宮地小5年)

中学・高校・一般の部(3km)女子

2位 伊藤菜(一の宮中1年)

5位 甲斐秀美(波野中1年)

一般の部(5km)男子

1位 木村文彦

高校・一般の部(10km)男子

2位 森本幸司

3位 中島慎治

文化

●「漱石忌」法要句会

特選 梶原悠司(阿蘇高校2年)

※夏目漱石の100回目の法要を記念した俳句大会で、寄せられた

155句の中「特選」を受賞。一般に

まじり高校生はただ一人の受賞です。

作品

「冬の空 右ひじついて思い出す」

〈梶原くんのコメント〉

詩はよくつくるが俳句は初挑戦。夏

目漱石先生のおなじみのポーズから

思いつきました。

みんなの

